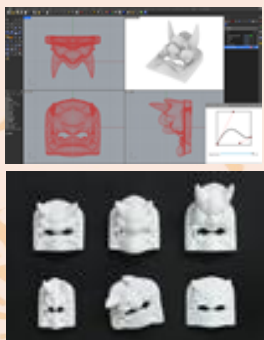


福井県工業技術センター 一般公開 目玉展示・実演

令和8年4月16日(木)～18日(土) 9:00～17:00

3D技術を利用した土産品の開発



県内の文化財や工芸品を3Dスキャナで測定して立体データにして、それを自由に加工して商品開発に利用する取り組みを紹介します。ノイズの少ないきれいなデータ測定をするための条件の検討、直感的な操作でデータを加工できるプログラムの開発、3Dプリンターによるサンプル出力などの手法で、地域の魅力を伝える商品開発を支援しています。

会場：管理棟 B207 産業技術実習室
担当者：化学・繊維部 セラミックス・工芸研究G 松嶋、呉藤

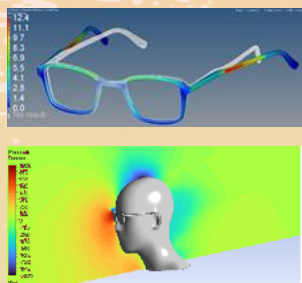
キャピラリーレオメーター



キャピラリーレオメーターは、熔融状態の樹脂の流れやすさを表す「せん断粘度」を計測する装置です。温度や樹脂の速度によって変化するため、成形条件の検討や成形シミュレーションに不可欠な重要な値です。また、押し出された樹脂を巻き取ることにより、フィルム成形や紡糸を行うときに役立つ、熔融張力や破断荷重などの物性も計測できます。

会場：研究棟 A202 繊維材料研究室
担当者：化学・繊維部 化学高分子研究G 前川(知)、前川(明)

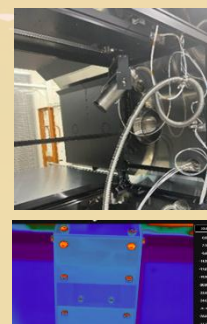
デジタルエンジニアリング室



これまで部署ごとにシミュレーション技法を用いた設計支援等を個別に行ってきましたが、所内の関連装置を一箇所に集約し、部署横断で製品デザインから性能検証、成形工程の検証まで一貫した支援を行います。今回の展示では、プラスチック製眼鏡フレーム開発を対象とし、デジタル技術を用いた製品開発の一連の流れを紹介します。

会場：研究棟 A601 画像処理室
担当者：機械・金属部 デジタル技術研究G 芦原、山口

熱真空試験機サーモカメラ撮影システム



この装置は、真空環境下で超小型人工衛星などの温度サイクル試験を行う熱真空試験機に組み込むことを目的に開発した、新たな温度測定システムです。このサーモカメラ撮影システムは、従来の熱電対による点測定とは異なり、供試体の広範囲な温度分布を一度に測定・可視化できる点が大きな特長です。また、熱電対の貼付け・配線作業を削減できるため、試験準備時間の短縮が期待できます。

会場：実証化棟 G108 熱真空試験室
担当者：新産業創出研究部 宇宙技術研究G 岸本、元山